**自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール**

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **№** | **タイトル** | **評価項目** | **自己評価****※事業所が記入** | **自己評価の理由や詳細****※事業所が記入** | **外部評価** | **運営推進会議で話しあった内容****（評価の理由や意見、質問、提案など）** | **まとめ****（質問への回答や評価を受けての今後の対応など）※事業所が記入** |
| **Ⅰ.理念・安心と安全に基づく運営** |  |  |  |
| 1 | 理念の共有と実践　 | 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている | A．充分にできているB．ほぼできているC．あまりできていないD．ほとんどできていない | ・「コロナで・・」と委縮している所があったが、行事ごとなど盛大にできるようになってきた。介護度の高さや透析の部分から家庭的な部分が薄れてきているように感じる。 | 　 | 　 | ・入居者の高齢化、透析者の増加によりケアの頻度が高くなっている。その中でも、楽しみを見つけて過ごせるよう接していく。 |
| 2 | 事業所と地域とのつきあい | 事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している | A．充分にできているB．ほぼできているC．あまりできていないD．ほとんどできていない | ・日常的な交流は減っているが、受診の時や、外に出る機会がある時には挨拶を心掛けている。・電話や文書の送付で状況を伝えるようにしている。 | 　 | ・地域の方と挨拶をしている様子を見る事がある。・コロナが落ち着いたら地区との交流などできるといい。・散歩をして、顔を覚えてもらうのもいいと思う。・地域との交流は積極的に。 | ・徐々に外に出る機会を増やし、近隣の方と顔見知りとなれるよう取り組んでいく。 |
| 3 | 運営推進会議を活かした取り組み | 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | A．充分にできているB．ほぼできているC．あまりできていないD．ほとんどできていない | ・文書にて開催。コロナの関係で、文書の送付が遅れる事がある。・市より、返信を頂いている。 | 　 | ・会議に係わらず、日頃から情報交換をさせて頂いている。・十分に対応してもらっていると思う。・コロナが落ち着いたら開催するように。直接会って状況を伺う方が、取組の姿勢がよくわかる。 | ・コロナの状況を見て、会議の開催を行うい、直接いけんがききとれるようにしていく。 |
| 4 | 市町村との連携 | 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる | A．充分にできているB．ほぼできているC．あまりできていないD．ほとんどできていない | ・事故発生時には、報告書を提出し、助言を頂いている。 | 　 | ・市町村担当者とコミュニケーションをとっていると聞いている。・十分に対応してもらっていると思う。・事故やヒヤリハットの報告は早めにお願いします。・市への要望もあれば教えていただきたい。 | ・文書の送付、報告書の遅延あり。速やかに提出できるようにしていく。 |
| 5 | 身体拘束をしないケアの実践 | 代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる | A．充分にできているB．ほぼできているC．あまりできていないD．ほとんどできていない | ・定期的に見直しを行い、代替え案などを盛り込んでいる。・拘束に関する勉強会や研修が不十分と感じる。 | A．充分にできているB．ほぼできているC．あまりできていないD．ほとんどできていない | ・研修会や勉強会で、日頃の業務を見直すことは大切。・研修や委員会の開催は「指定基で定められている。不十分と感じるのは内容の事か。不明な点は市へも相談するように。 | ・身体拘束や虐待について理解できているようでそうでない部分もあり、研修不足と思う。勉強会や研修を通して、理解を深めていく必要がある。 |
| 6 | 虐待の防止の徹底 | 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている | A．充分にできているB．ほぼできているC．あまりできていないD．ほとんどできていない | ・身体拘束同様に、勉強会や研修が不十分と感じる。 | A．充分にできているB．ほぼできているC．あまりできていないD．ほとんどできていない | ・虐待はあってはならないため、暴言等にも注意し、勉強会や研修を言った方が良いと思います。・研修会や勉強会で、日頃の業務を見直すことは大切。・上記同様、市へも相談してください。 | ・身体的な事だけでなく、言葉の虐待については難しいと感じている職員も多い。とっさに出てくる言葉が「ちょっと待って」などが多く、また認知の方に理解してもらうのは難しい。勉強会や研修の機会を設ける必要がある。 |
| 7 | 権利擁護に関する制度の理解と活用 | 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している | A．充分にできているB．ほぼできているC．あまりできていないD．ほとんどできていない | ・勉強会や、研修の参加が必要。 | 　 |  | ・身体拘束、虐待同様に、勉強会や研修の機会を設ける必要がある。 |
| 8 | 契約に関する説明と納得 | 契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている | A．充分にできているB．ほぼできているC．あまりできていないD．ほとんどできていない | ・契約内容を理解し、聞かれたことに応えられるようにしている。・ご家族や、入居者の不安が少しでも取り払えるようにしている。・職員にも、契約内容をもっと知り理解する必要があると考える。 | 　 |  | ・今後も説明を行い、理解できたか確認を行っていく。都度分からない点があればいつでも連絡いただくようにしていく。 |
| 9 | 運営に関する利用者、家族等意見の反映 | 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている | A．充分にできているB．ほぼできているC．あまりできていないD．ほとんどできていない | 　・電話や面会時に対話の時間を増やし、雑談の中から要望や意見などを聴くようにしている。 | A．充分にできているB．ほぼできているC．あまりできていないD．ほとんどできていない | ・面会制限がある状況なので、なおさら意向確認や、本人の状況報告を丁寧にするように。・意見を聞いて、内容に反映した事例があれば教えていただきたい。 | ・字を書くことが好きで、何を書いたのか聞くと歌の歌詞であった。ご家族の前でその歌を歌われ「初めて歌っている所を聴いた」とご家族に喜ばれた。・対面での面会も時間制限はあるが徐々に出来るようになったため、ご家族と顔を合わせる機会を作っていく。 |
| 10 | 運営に関する職員意見の反映 | 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている | A．充分にできているB．ほぼできているC．あまりできていないD．ほとんどできていない | ・職員会やそれ以外でも意見がある際には、職員に聞き取りなどを行いながら、反映させるようにしている。・様々な意見を集約し反映させることは難しい。 | 　 |  | ・小さなことでも改善できるところは改善していくようにしていく。 |
| 11 | 就業環境の整備 | 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている | A．充分にできているB．ほぼできているC．あまりできていないD．ほとんどできていない | ・勤務状況が違うため、個々の状態に合わせて話を聞き取り組んでいる。 | A．充分にできているB．ほぼできているC．あまりできていないD．ほとんどできていない | ・職員同士の連携、情報共有を充分に行うように。・人材不足が加速する中、とても大事な事項。最優先にすべきことの一つとして取り組むこと。 | ・なるべく個々の条件をきき、勤務に反映できるようにしてくいく。・研修などの働きかけをしていく。 |
| 12 | 職員を育てる取り組み | 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている | A．充分にできているB．ほぼできているC．あまりできていないD．ほとんどできていない | ・職員の体調面、人員不足により研修への参加が不十分だった。・徐々に研修等の参加を確保している。 | A．充分にできているB．ほぼできているC．あまりできていないD．ほとんどできていない | ・幡多地域で研修が少なく参加しずらいという話も聞く。リモートも活用して参加を増やして頂きたい。 | ・リモート研修はPC画面のため、目が疲れる、話が入ってこないなどの意見がある。現地に足を運びたいが遠い。との意見がある。・リモートの活用を視野に入れていく。 |
| 13 | 同業者との交流を通じた向上 | 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | A．充分にできているB．ほぼできているC．あまりできていないD．ほとんどできていない | ・研修等の参加が思うようにできず、同業者との交流がはかれていない。・電話などで、近況を話すことがある。 | 　 |  | ・研修などに参加し、他職種・他事業所との方と顔見知りになれるようにする。 |
| 14 | 本人と共に過ごし支えあう関係 | 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている | A．充分にできているB．ほぼできているC．あまりできていないD．ほとんどできていない | ・透析に重きを置いてしまうため、一般入居者が後回しになってしまうことがある。・日常生活の中から、交流の場を作るようにしている。 | 　 |  | ・入居者の高齢化、透析者の増加によりケアが画一的になりやすい。・一人一人違うため、個々のケアが出来るようにしてく。 |
| 15 | 馴染みの人や場との関係継続の支援 | 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている | A．充分にできているB．ほぼできているC．あまりできていないD．ほとんどできていない | ・ご家族や、孫の写真を居室に飾る。・携帯を持たれている方もおり、個人で連絡を取られている方もいる。・会話の中にご家族の事やなどを盛り込んでいる。 | 　 |  | ・携帯の普及により、携帯持参者が多い。携帯操作の要求がある。写真を贈られる方もいるため、時折携帯の確認をしていく必要がある。 |
| **Ⅱ．その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント** |  |  |  |
| 16 | 思いや意向の把握 | 一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。 | A．充分にできているB．ほぼできているC．あまりできていないD．ほとんどできていない | ・入居者の言葉を聞き、できる限り対応できるようにしている。 | 　 |  | ・「ちょっと待って」といった言葉が出やすいが、口約束とならないよう、対応していく。 |
| 17 | チームでつくる介護計画とモニタリング | 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映し、現状に即した介護計画を作成している | A．充分にできているB．ほぼできているC．あまりできていないD．ほとんどできていない | ・ご家族や、本人の意見・要望を聞き、取り入れるようにしている。 | A．充分にできているB．ほぼできているC．あまりできていないD．ほとんどできていない | ・薬についての必要な対応を日頃から話し合っている。・本人の希望は聞き取れない方もいると思うが、これまでにご家族が聞いているかもしれないのでご家族へも確認をする様に。・職員や他職種と連携できると良い。 | ・認知が進み、本人の希望・要望の聞き取りが難しい。ご家族へも確認するようにする。 |
| 18 | 個別の記録と実践への反映 | 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている | A．充分にできているB．ほぼできているC．あまりできていないD．ほとんどできていない | ・記録や申送りを活用し「報・連・相」が出来るようにしている。・必要なことは別紙に書くなどして見える化をするようにしているが、まだ、十分に浸透できていない。 | A．充分にできているB．ほぼできているC．あまりできていないD．ほとんどできていない | ・浸透できない理由は何か。様式が増えすぎると負担が大きくなることがある。 | ・話の中で「こうやった」との声はあるが、記録に反映していないことあり、職員会などで再度周知徹底していく様話し合いをしていく。・申送りだけでなく、必要な個所は、掻きだすなど見える化していく。 |
| 19 | 一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 | 本人や家族の状況、その時々に生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる | A．充分にできているB．ほぼできているC．あまりできていないD．ほとんどできていない | ・室内で過ごすことが多く、活動内容が偏りがちになっているため、創意工夫が必要である。 | 　 | ・入退院時など、細かな対応が出来ている。・天気の良い日は、近所の散歩やドライブなどは難しいか？・利用者の買い物はどのようにしているのか。通院や透析は多機能的に運営されている強み。 | ・天気の良い日に外に出る機会を増やしていく。まt、買い物や美容院など行けるように、コロナの状況を見て取り組んでいくようにする。 |
| 20 | 地域資源との協働 | 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している | A．充分にできているB．ほぼできているC．あまりできていないD．ほとんどできていない | ・外部からの散髪。・あゆみ共同作業所よりお菓子の購入。・近くの商店で野菜の購入。などを取り入れている。 | 　 | ・病院への行き帰りにコミュニケーションをとっている姿を見かける。・コロナが落ち着いたら地区の人や小学生などの交流が出来るといい。・入居者が自由に買い物できるなどの支援が出来るといい。 | ・「外に行きたい」との声がある為、感染対策をしながら外に出る機会を増やしていく。 |
| 21 | かかりつけ医の受診支援 | 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | A．充分にできているB．ほぼできているC．あまりできていないD．ほとんどできていない | ・1回/月の定期受診。必要時には、適宜受診している。また、外来NSに適宜相談を行い、NS、Drより助言を頂いている。・透析入居者の対応などの助言をして頂いている。 | 　 |  | ・クリニックがあることで、特変時の対応が直ぐにできる。今後も、クリニックと連携し、相談・助言を聴くようにしていく。 |
| 22 | 入退院時の医療機関との協働 | 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。 | A．充分にできているB．ほぼできているC．あまりできていないD．ほとんどできていない | ・入退所の際には、情報交換を行っている。また、入院時には面会に行き、NS・介護職員より現状の聞き取りを行っている。 | A．充分にできているB．ほぼできているC．あまりできていないD．ほとんどできていない |  | ・クリニックの職員と情報の共有を行っていく。食事については栄養価と相談していく。 |
| 23 | 重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 | 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる | A．充分にできているB．ほぼできているC．あまりできていないD．ほとんどできていない | ・クリニックと連携し、事前指示書の聞き取り、作成をしている。また、ご家族と連絡を取りあい今後の方針など話し合っている。 | A．充分にできているB．ほぼできているC．あまりできていないD．ほとんどできていない | ・本人の意向を大切にしてください。 | ・事前指示書をもとに、ご家族、本人の意向を聞いていく。 |
| 24 | 急変や事故発生時の備え | 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている | A．充分にできているB．ほぼできているC．あまりできていないD．ほとんどできていない | ・緊急時の対応についての勉強会・研修を取り入れる必要がある。・目の前で起こるとどうしてよいかわからず伝え方が不十分なことがある。 | 　 |  | ・研修や勉強会を行っていく。 |
| 25 | 災害対策 | 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている | A．充分にできているB．ほぼできているC．あまりできていないD．ほとんどできていない | ・地域との協力体制は。現在できていない。・マニュアルの周知徹底・防災訓練の実施。 | A．充分にできているB．ほぼできているC．あまりできていないD．ほとんどできていない | ・今は難しいと思うが、地域の防災訓練への参加などもできたらいい。・災害が発生した際は、避難所にしていなくても施設など大きな事業所には地域の方が集ってくることもある。普段からの取組は大切。 | ・今後の状況を見ながら、地域の防災に参加していく。・地域の方と馴染みとなれるようにしていく。 |
| **Ⅲ．その人らしい暮らしを続けるための日々の支援** |  |  |  |
| 26 | 一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 | 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている | A．充分にできているB．ほぼできているC．あまりできていないD．ほとんどできていない | ・名前の呼び方など接遇が出来ていないことがある。今後も指導・注意を行い改善に取り組んでいく。 | A．充分にできているB．ほぼできているC．あまりできていないD．ほとんどできていない | ・名前の呼び方は、本人とご家族の意向を確認して決めるといいと思う。・入居者を尊重した介護を行う。呼び方など、通常は良くないと思われる呼び方を本人が求めるなど、介助を行う上で必要と判断した場合は、プランに記載してください。 | ・言葉使いなどに気を付け、出来ていなければ職員同士注意し合っていく。・呼び方については、御家族、本人とも相談していく。 |
| 27 | 日々のその人らしい暮らし | 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | A．充分にできているB．ほぼできているC．あまりできていないD．ほとんどできていない | ・職員の体調面や人員不足となり、職員ペースとなることがある。・透析の入居者が増えたことで、透析者中心になりがちである。一般入居者とのかかわり方を見直す必要がある。 | 　 |  | ・透析にかかるケアが多いため、透析者に偏りがちになっている。どの方も統一したケアをしていく事は難しいが、時間などを決め関わりが出来るようにしていく。 |
| 28 | 食事を楽しむことのできる支援 | 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている | A．充分にできているB．ほぼできているC．あまりできていないD．ほとんどできていない | ・調理や準備ができる入居者が限られる。・出来る事を入居者の方にもして頂いているが中には、人がする事を嫌う方もいるため、状況を見ながら行っている。 | A．充分にできているB．ほぼできているC．あまりできていないD．ほとんどできていない | ・無理に矯正することはできないと思うので、今後も状況を見ながら行う。 | ・出来る入居者も限られているため、出来る範囲で行っていく。・嫌がる方もいるため、今後も状況を見ながら進めていく。 |
| 29 | 栄養摂取や水分確保の支援 | 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | A．充分にできているB．ほぼできているC．あまりできていないD．ほとんどできていない | ・食事形態：個々に合わせて提供している。・水分の確保が難しく、日々工夫しながら提供している。・透析者は水分量が決まっている為、表を作成している。 | 　 |  | ・個々に合わせた提供をしていく。（体調不良時にはお粥にするなど）臨機応変な対応をしていく。・水分補給が難しいため、好みの物など、工夫をして提供していく。 |
| 30 | 口腔内の清潔保持 | 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている | A．充分にできているB．ほぼできているC．あまりできていないD．ほとんどできていない | ・義歯の紛失がある為、必要に応じて預かりを行っている。・夜間は義歯の預かり、洗浄を行っている。・口腔内の確認・個々に応じてスポンジブラシの使用をしている。 | A．充分にできているB．ほぼできているC．あまりできていないD．ほとんどできていない |  | ・自分で口腔ケアをしている方の口腔内の確認が出来ていない。「大丈夫」と言われるが、確認が出来るようにしていく。どのように確認するか考える。 |
| 31 | 排泄の自立支援 | 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる | A．充分にできているB．ほぼできているC．あまりできていないD．ほとんどできていない | ・定時の誘導以外にも必要に応じて排泄介助を行っている。個々に合わせて、排泄用品の提供。・自分でできる所はして頂くよう、残存機能を生かしている。 | A．充分にできているB．ほぼできているC．あまりできていないD．ほとんどできていない |  | ・透析者は便秘になる方が多く、下剤服用者が多い。何日も排便がない時もある為、今後も幡多クリニックと相談し、対応していく。 |
| 32 | 入浴を楽しむことができる支援 | 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている | A．充分にできているB．ほぼできているC．あまりできていないD．ほとんどできていない | ・ここによって、声掛けのタイミングなどがあり、状況を見て声掛けを行っている。・残存機能を生かしている。 | 　 |  | ・それぞれのタイミングがある為、無理強いはしない。・早く入浴業務を終わらすことにとらわれず、ゆっくり入浴できるようにしていく。 |
| 33 | 安眠や休息の支援 | 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している | A．充分にできているB．ほぼできているC．あまりできていないD．ほとんどできていない | ・入眠が見られない場合は、傾聴・寄り添い、眠れる工夫をしている。・状況によっては眠剤の使用をしている。 | 　 |  | ・眠れない方がいる時は、一緒に話すなどしている。今後もその人の状況を見ながら対応していく。 |
| 34 | 服薬支援 | 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている | A．充分にできているB．ほぼできているC．あまりできていないD．ほとんどできていない | ・表を作成し、服薬チェックをしている。声出し確認、確薬している。・医師、看護師、薬剤師と情報共有を行い相談・助言を頂いている。・個別に薬剤情報をファイルに閉じ、置いている。 | A．充分にできているB．ほぼできているC．あまりできていないD．ほとんどできていない |  | ・薬の服薬が難しい方は、今後も粉砕してもよいか薬剤師に相談し、対応していく。・薬剤情報を個別に置いているため、確認しやすくなった。 |
| 35 | 役割、楽しみごとの支援 | 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている | A．充分にできているB．ほぼできているC．あまりできていないD．ほとんどできていない | ・季節ごとのイベントを開催している。・日々のレク活動のマンネリ化が見られるため、創意工夫をしていく必要がある。・メダカを飼い始め、入居者との会話が増えたように感じる。 | 　 | ・植物のお世話をされている方がいる。・季節ごとの行事や、外出の機会も作ってもらえると入居者の楽しみや生活のはりにつながると思う。本人の地元の行事で参加できるようなものがあれば出来るといい。・メダカいい。・市役所の図書室にもレク活動の本があるので活用してみて。 | ・月行事などが出来るようになってきた。今後も何かしらの活動が出来るようにしていく。外に出たがっている方がいるため、ドライブや散歩などをもう少し取り入れていくようにする。 |
| 36 | 日常的な外出支援 | 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している | A．充分にできているB．ほぼできているC．あまりできていないD．ほとんどできていない | ・散歩に行くことは少ないが、玄関先に出て、外の空気に触れるようにしている。・透析病院ということで、制限を厳しくしている所があるが、可能な限り散歩やドライブを取り入れている。 | 　 | ・車で公園にいったりなどされている。・気分転換や体力維持のためにも散歩を取り入れてもらえるといい。・感染症の事を考えるとやむおえない部分はあると思う。今後も可能な限り気分転換になるような支援をお願いします。 | ・外に出る機会を増やしていく。・制限下の中で難しいところもあるが、出来る事をしていく。 |
| 37 | お金の所持や使うことの支援 | 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している | A．充分にできているB．ほぼできているC．あまりできていないD．ほとんどできていない | ・金銭管理は施設で行っている。御家族へ購入依頼をする事もある。・希望がある際には、預かり金の中から、お菓子などの購入をしている。・金銭出納帳を御家族へ送り、金銭状況を把握して頂いている。 | 　 |  | ・買い物や欲しい物を訴えてくる方がおられる。散歩がてら、近くのお店で好きな物が購入できるような時間を作っていくようにする。・外出制限がある為、状況に応じて対応していくようにする。 |
| 38 | 電話や手紙の支援 | 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている | A．充分にできているB．ほぼできているC．あまりできていないD．ほとんどできていない | ・。電話が掛かってきた際には、本人と会話出来るようにしている。また、入居者が連絡しやすいよう、声をかけている。・写真を贈り、本人の様子が分かるようにしている。 | 　 |  | ・携帯を持参している方は、自らご家族と連絡を取り合っている。・いつでも電話などをしてよいことを、ご家族や本人に伝えている。また、連絡を取った際には、本人と変わるなどし、今後も対話ができるようにしていく。 |
| 39 | 居心地のよい共用空間づくり | 建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている | A．充分にできているB．ほぼできているC．あまりできていないD．ほとんどできていない | ・施設全体がバリアフリーとなっているため、両ユニットを行き来し、交流を持つことが出来る。・玄関先は緩い下り坂となっているため、不意に出ていく方がそのまま道路に飛び出す危険がある。（特に車椅子の方は注意が必要である）・フロアへは、極力、障害となる物は置かないようにしている。 | A．充分にできているB．ほぼできているC．あまりできていないD．ほとんどできていない |  | ・日の当たるところは人気で人が集まりやすく、混雑しやすい。トラブルが起きたことはないが、今後も事故などが起きないよう、見守り、都度対応していく。 |
| **Ⅳ．本人の暮らしの状況把握・確認項目（利用者一人ひとりの確認項目）** |  |  |  |
| 40 | 本人主体の暮らし | 本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができている | A．充分にできているB．ほぼできているC．あまりできていないD．ほとんどできていない | ・「外に出たい」といった要望あり。散歩や、日向ぼっこを取り入れたりしている。 | 　 |  | ・「外に出たい」との希望が取り入れられるよう、散歩やドライブをしていく。 |
| 41 | 本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができている | A．充分にできているB．ほぼできているC．あまりできていないD．ほとんどできていない | ・ご家族から生活習慣などを聞き取り、ケアをする際に用いている。・携帯を持たれている方がいるが、認知もあり、携帯操作が困難になりつつある。 | 　 |  | ・踊りをされる方がおり「昔、会社の催し物をするのに覚えた」との事。そういったことを聞き出せるよう、入居者と対話をし、他職員へも共有していく。 |
| 42 | 本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができている | A．充分にできているB．ほぼできているC．あまりできていないD．ほとんどできていない | ・1回/月、定期受診。必要時受診。・安全に配慮した、環境整備を行っている。・特変時には、ご家族へ連絡し、状況把握をして頂いている。 | A．充分にできているB．ほぼできているC．あまりできていないD．ほとんどできていない | 　 | ・特変時などには、外来受診などを行い、相談していく。また、ご家族と連絡を取り、伝えていく。 |
| 43 | 生活の継続性 | 本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができている | A．充分にできているB．ほぼできているC．あまりできていないD．ほとんどできていない | ・洗濯や調理の手伝い等「出来る事はするよ」とすることが出来る。 | 　 | 　 | ・生活家事以外にも、折り紙などされる方がいるため、出来る環境を作っていくようにする。 |
| 44 | 本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近（自室等）に持つことができている | A．充分にできているB．ほぼできているC．あまりできていないD．ほとんどできていない | ・携帯の持参。・服など「こんなの持っちょった」と覚えている方も多く、好んで着られている。 | A．充分にできているB．ほぼできているC．あまりできていないD．ほとんどできていない | 　 | ・写真を居室に飾られている。アルバム持参されている方もいるため、時折開いて見れるようにしていく。 |
| 45 | 本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催（祭）事に参加することができている | A．充分にできているB．ほぼできているC．あまりできていないD．ほとんどできていない | ・時季のイベントの開催は出来ている。・玄関先が緩い下り坂となっている為、職員付き添いで戸外に出るようにしている。 | 　 | ・クリスマスや施設内のお祭りなどで盛り上がっている。・自分の意向で出来る事が大切。 | ・季節のイベントが出来るようになり、季節感が出てきたと思う。・地区の行事に参加できるようにしていく。 |
| 46 | 本人が持つ力の活用 | 本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができている | A．充分にできているB．ほぼできているC．あまりできていないD．ほとんどできていない | ・レク活動は日課となっている。・高齢となり、身体レベルの低下も見られ、一緒に参加することが難しくなっている方も居られる。・1人を好まれる方もおられる。 | 　 | 　 | ・認知機能、身体機能の低下、年齢的にも90代の方が増えており、参加が難しくなっている。無理強いはしないよう、出来る時には参加し、楽しみが出来るようにしていく。 |
| 47 | 本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができている | A．充分にできているB．ほぼできているC．あまりできていないD．ほとんどできていない | ・入居者同士で会話が弾む方もいるが、中にはトラブルを起しそうになることもある為、職員が間に入ている。・1人を好まれる方も居られる。・ | A．充分にできているB．ほぼできているC．あまりできていないD．ほとんどできていない | 　・トラブルがある場合はユニットの変更を検討してみてはどうか。他事業所でユニットの変更で帰宅願望が落ち着いた方がいた。また、1人を好まれる方に無理に会話に誘うべき、という項目ではないとおもう。 | ・状況を見て必要と判断した場合は居室の変更を行っているが、目の行き届かない方が見えやすい居室にいる事もあり、居室変更が難しい場合もある。・居室を変更したことにより、「前より個々の部屋がいい」と言われる方も居る。 |
| 48 | 本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができている | A．充分にできているB．ほぼできているC．あまりできていないD．ほとんどできていない | ・家族以外の外部との交流は出来ていない。・制限下の中、面会を行っている。電話連絡はいいつでもできるよう、ｇ家族へも声をかけている。 | 　 | ・日向ぼっこをするのに外に出ている姿を見かける。・入居者が電話がしたと思った時に出来るようになったら良い。 | ・ガラス越しではあるが、ワイヤレスイヤホンを使用し声を聴くことが出来ている。面会に関しては、説明を行い、ご家族へご協力して頂いている。・知り合いという方が面会に来られる事がある。ご家族以外の面会も出来る事を、ご家族に声を掛けていくようにしていく。 |
| 49 | 総合 | 本人は、このGHにいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができている | A．充分にできているB．ほぼできているC．あまりできていないD．ほとんどできていない | ・制限下の中、出来ないことも多いが、日々の生活を送る事が出来ている。・制限が代所に解除されていることで、買う動画活発にできる様になっている。制限下での状況に慣れてしまっている所がある為、活動の活発化をしていく必要がある。 | A．充分にできているB．ほぼできているC．あまりできていないD．ほとんどできていない | ・職員の人柄を見て、十分親しんでいると感じる。・コロナ、インフルエンザが流行する中、施設内でのクラスターが発生しないよう配慮して対応していると思う。制限ある中で入居者の一日一日を楽しく穏やかに過ごしてもらうのは気配りのいる事だと思う。これからも対応お願いします。・自立支援の観点からも、活発な活動は「重要と思う。工夫して運営を続けてください。 | ・制限下に慣れてしまっている所があり、縮こまっている所がある。月行事が盛大にできるようになってきているため、外に出る機会も徐々に増やしていく。・日々のレク活動も楽しめるよう工夫していく。 |